

「萩燃ゆフォーラム」開催のご案内
～自分たちの手で地方からイノベーションを～

2016年1月29日

〒755-0043 山口県宇部市相生町6番21号 有限会社システムコム内
ITコーディネータやまぐち協同組合 (ITCY) <http://www.itc-yamaguchi.net/>
代表理事 三宅 功一郎

[IT コーディネータやまぐち協同組合 \(ITCY\)](#) (代表理事 三宅功一郎、宇部市) と [経営情報学会「中小企業のIT経営研究部会」](#) (主査 高島利尚、東京) は共同で、山口県萩市で「萩燃ゆフォーラム」～自分たちの手で地方からイノベーションを～と題した、フォーラムを3月12日(土)に開催します。

昨年は、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放送、ユネスコの産業遺産登録などで、萩・山口県が注目されましたが、これらを一過性で終わらせるのではなく、元気な萩・山口県を継続的にPRするためにも、「花燃ゆ」もじって「萩燃ゆフォーラム」と冠をつけています。シンポジウムという討論だけで終わらず、ひとつの仲間、力として継続できるよう、フォーラムとしています。

地方創生が叫ばれていますが、国が言うからついていくのではなく、地元で自らイノベーションを起こし、民間の力で日本を変えていかなければいけないのではないのでしょうか。萩・山口県は明治維新というイノベーションを起こした街です。今、萩・山口県で起きている変化を明らかにすることで、新しい萩・山口県の姿を見せ、世に問おうとの思いで企画したものです。

地元にいると、地元企業の良さや強さがなかなか分らず、知らないことも多くあります。しかし、今回のフォーラム登壇企業は、県外から見ればすばらしい動きをしておられます。ある分野でシェア日本一の会社が2社登壇します。高校の動きも全国から注目されています。このようなアクティブでイノベティブな活動はどのようにして生まれたのでしょうか。何がきっかけだったのか、何がヒントになったか、どういう思いがあったのか、などを事例発表とパネルディスカッションを通じて引き出すことで、他の企業・団体の方々の参考にしていただけないかと考えています。

受講される方々は、中小企業経営者、IT企業、大学・高等学校の先生や学生、県や自治体の地域創生・雇用促進ご担当の方々を想定しており、県内外から100名以上の来場を呼びかけていきます。

今フォーラムは、中小企業に詳しい学会の先生方が参加されるため、萩・山口県の元気な姿を、全国各地でお話しされることで、全国に拡散され企業間のネットワークが広がることを狙っています。

なお、東京から参加される方も多いため、3月11日から13日の間で、登壇企業のほか中小企業の視察を行ないながら、萩の観光も楽しんでいただけるマイクロバスでのツアーを企画しています。

<フォーラムの内容>

日程 2016年3月12日(土) 10:00~17:00

会場 [山口県萩市江向431-2](#) 「[JAあぶらんど萩](#)」 3階大ホール

主催 ITコーディネータやまぐち協同組合 (ITCY)
経営情報学会「中小企業のIT経営研究部会」

協賛 富士ゼロックス山口株式会社

後援 山口県、やまぐち産業振興財団、山口県中小企業団体中央会、山口県情報産業協会、
萩市、萩商工会議所、萩市観光協会、[ITコーディネータ協会 \(ITCA\)](#)、[クラウドサービス推進](#)

機構 (CSPA)、日本イノベーション融合学会 (IFSJ)

展示 出講企業および関係者の商品等を会場ホール前室ホワイエにて展示

料金 参加費無料

申し込み (100名) ITCYのWEBからお申し込みください。 <http://www.itc-yamaguchi.net/>

<プログラム>

挨拶 ITコーディネータやまぐち協同組合理事長 三宅功一郎
経営情報学会「中小企業のIT経営研究部会」主査 高島利尚
祝辞 山口県商工労働部長 阿野徹生様、萩市長 野村興児様

第一部 日本の中小企業のIT利活用動向 10:20~11:20 (60分)

- (1) イノベーションを起こす企業はここが違う ITコーディネータ協会会長 播磨崇
- (2) 「攻めのIT経営」中小企業百選に見る 明治大学経営学部教授 岡田浩一

第二部 萩がIT先進都市に変貌か 11:30~12:40 (70分)

- (3) 鉄骨建築3Dソフト売上日本一の会社「[データロジック](#)」
萩の片隅にある、まるで別荘のような社屋に31人の若者が生き生きと働く
- (4) 萩を拠点にテレワークの実証で見てきた「[ダンクソフト](#)」
萩市明木地区の古民家の中はITの別世界が広がった
- (5) 生徒たちと繰り広げるアクティブラーニングによるITの活用「[萩商工高等学校](#)」
観光のホームページづくりからキントーンまで、東京の大手ソフト会社も注目
- (6) パネル参加：スマホアプリ作りを通じて中高校生たちに自信と夢を持たせた「[萩Love](#)」
- (7) パネル参加：萩高OBが決起、サテライトオフィス開設第1号となる「[ネットケアサービス](#)」

第三部 第一次産業発でのイノベーション経営事例研究 13:40~14:40 (60分)

- (8) 漁協女性部から起業した浜の女性たちの手による「[三見シーマザーズ](#)」
規格外の魚を活かし、道の駅や宅配サービスで地域に笑顔と賑わいを届ける
- (9) 生産、製造、販売を一貫して結ぶ6次産業化NPO「[萩の夏みかんクリエイト](#)」
落ちたまま放置されている夏みかんを見て、萩の夏みかん復活に立ち上がった
- (10) 2013年夏の大洪水で水没した酒蔵から立ち直った「[澄川酒造場](#)」
東洋美人のブランドを守り、新設備を導入し通年製造で新たなチャレンジが始まった

第四部 第二次産業でのイノベーション経営事例研究 14:50~15:50 (60分)

- (11) 明治以降なくなってしまった萩のガラス製造を復活「[萩ガラス工房](#)」
高杉晋作も萩ガラスの盃でお酒を飲んでいた、忘れられた産業を蘇らせた
- (12) 伝統工芸品の桐箱から日本最大の木箱製造会社へ変身「[美萩工芸](#)」
桐箱が低迷する中でおせち重箱へのシフトで、高級料亭、ホテル、デパートが客に
- (13) 萩焼の伝統を守りつつ新たな挑戦への意欲を見せる「[萩青年会議所](#)」
スマホARアプリで窯元を動画で紹介、巡る楽しみ、体験する楽しみを演出する

第五部 地域活性化にITを活用する提言 16:00~16:40 (40分)

- (14) 萩の観光案内をスマホアプリ「ふらっと案内」で変革する「[ITCやまぐち](#)」
モバイル、クラウド、IoTなど先進ITを活用した観光サービスのあり方を考える

コメンテータ 経営情報学会 高島、松島、岡田 ITCY 前田

まとめと挨拶 経営情報学会、クラウドサービス推進機構理事長 松島桂樹

終了 17:00

■付帯プログラム

3月12日(土) 19:00～21:00 情報交換会(予約・会費制 7,000円、「割烹 千代」)

3月11日(金)、13日(日) 企業見学会(兼、萩の歴史と自然を巡るツアー)

詳細は、[ITコーディネータやまぐち協同組合のホームページをご覧ください。](http://www.itc-yamaguchi.net/)

<http://www.itc-yamaguchi.net/>

■「ITコーディネータやまぐち協同組合」は、県下の中小企業の経営改革をITの利活用で支援する組合活動に取り組んでおり、これまでも多くの個別企業の片腕となって経営者から喜ばれています。また、2013年からは地域活性化の一環として、萩地区からスマホアプリ「ふらっと案内」を活用した観光案内の支援活動も行なっており、長門市はじめ今後拡大の計画となっています。

■経営情報学会「中小企業のIT経営研究部会」は、研究会の開催や研究レポートの発行のほか、毎年3月に大学の春休みを利用して、全国各地の中小企業の視察や、現地企業を囲んでのシンポジウムなどの活動を重ねています。研究部会のメンバーの多くは、経済産業省、中小企業庁、中小企業大学校などのIT経営施策の委員やアドバイザーとして活躍されています。

■お問い合わせ先

ITコーディネータやまぐち協同組合 前田信太郎
shintaro_m@nifty.com 080-5038-6099

以上